

FLP 地域・公共マネジメントプログラム

「Summer School in 津山市」報告書刊行にあたって

中央大学 FLP 地域・公共マネジメントプログラムは学部を横断するゼミ形式の学びの場であるファカルティ・リンケージ・プログラム(Faculty Linkage Program(以下「FLP」と記す))の5つ目の教育プログラムとして2008年度に始動しました。FLPは学部横断で可能となる学術的視点と現実には起こっている問題、事象を起点とし、常にそこに立ち返るプラグマティックな視点を大学での学びの基軸にするものです。その中で、地域・公共マネジメントプログラムは、人々の生活の拠点としての地域に焦点を当てています。活気ある地域での豊かな暮らしを望むのはその地域で暮らす人々です。生活の豊かさやサービスの質と量は地域の公的なマネジメントを担う自治体の政策で大きく左右されるのはもちろん、豊かさを享受できるように街を整え、ニーズに応えるサービスを届けるのは自治体です。

本プログラムは2年次に履修をはじめ、学部横断のゼミを通じて学びを重ねてまいります。2008年度以降、コロナ禍で実施を見送った2020年度を除いて、毎年、全国の自治体の協力を得ながら、summer schoolを実施してまいりました。特に、都会育ちの学生が増えている中で、様々な課題を抱える地方に赴き、体験することを通じて学びの深みが増していくことを期待し、毎年実施しております。学問や理論が先にあって、解決できる課題を探すのではなく、目の前にある課題をどのように解決するかに主眼を置き、論理を展開するスタイルのプログラムとなっており、毎年フィールドを変えることで、異なる課題に立ち向かう学生を育てていきたいと考えております。

さて、今年度は岡山県津山市に協力いただき、何度かオンラインでのやり取りをしながら、8月18日～20日に現地に赴きました。学生たちは座学で学んできたこと、地図上で見てきたことなどを現地のスケール観にあわせることができたのではないのでしょうか。津山市役所の谷口圭三市長をはじめ、窓口を引き受けていただいた、みらいビジョン戦略室の旦様、ご担当いただいた市役所の皆様、ヒアリング等にご協力いただいた津山市民の方々には、多大なるご協力をいただいたこと、大変感謝しております。教員を代表して御礼申し上げます。

また、12月14日に本学多摩キャンパスで実施された成果報告会においても市長からご挨拶いただき、また、旦様からはコメント等もいただいたこと大変感謝しております。本報告書はこの1年の成果を集めたものです。

Summer school の成果をこのような形でまとめることができましたのも、多くの方々にかかわっていただいたからです。学生たちもここで得られた学びを今後の研究に役立て、自己研鑽に努めてください。最後にかかわっていただいた方々に感謝の意を表し、巻頭のあいさつとさせていただきます。

2025 年 3 月

中央大学 FLP 地域・公共マネジメントプログラム

部門授業担当者委員会委員長 川 崎 一 泰